

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	<p>ビジネス情報学部において、本教育プログラム対象科目の履修者数、成績等については、履修登録システム(STEP)を活用することにより、受講者毎の履修・修得状況を把握できる。本教育プログラムの自己点検・評価を行う上武大学データサイエンスセンターで履修・修得状況を確認し、履修者数の増加や修得状況の改善を行っている。</p>
学修成果	<p>内部質保証委員会を実施している授業評価アンケートのうち、本教育プログラム対象科目を抽出し、上武大学データサイエンスセンターで自己点検・評価を実施し、本教育プログラムの評価・改善に活用している。</p>
学生アンケート等を通じた学生の理解度	<p>本教育プログラム対象科目に対して授業評価アンケートを実施しており、設問「授業内容を理解できたか」という回答をみることによって、学生の理解度を分析している。本教育プログラム対象科目「情報社会とコンピュータ」で、「とてもそう思う」「そう思う」と回答した者は、スポーツ健康マネジメント学科では 58%、国際ビジネス学科では 76%であった。本教育プログラム対象科目「プログラム言語 C」で、「とてもそう思う」「そう思う」と回答した者はビジネス情報学部で 77%であった。本教育プログラム対象科目「プログラム言語 D」で、「とてもそう思う」「そう思う」と回答した者はビジネス情報学部で 71%であった。</p>
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	<p>本教育プログラム対象科目に対して授業評価アンケートを実施しており、設問「授業は有意義であったか」という回答をみることによって、他の学生への推奨度を推察している。本教育プログラム対象科目「情報社会とコンピュータ」で、「とてもそう思う」「そう思う」と回答した者は、スポーツ健康マネジメント学科では 55%、国際ビジネス学科では 79%であった。本教育プログラム対象科目「プログラム言語 C」で、「とてもそう思う」「そう思う」と回答した者はビジネス情報学部で 92%であった。本教育プログラム対象科目「プログラム言語 D」で、「とてもそう思う」「そう思う」と回答した者はビジネス情報学部で 72%であった。</p>
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	<p>本教育プログラム対象科目「情報社会とコンピュータ」はビジネス情報学部国際ビジネス学科、スポーツ健康マネジメント学科スポーツマネジメントコース/スポーツトレーナーコースにおける1年生の必修科目である。本教育プログラム対象科目「プログラム言語 C」「プログラム言語 D」はビジネス情報学部国際ビジネス学科経営・経済コース、スポーツ健康マネジメント学科スポーツマネジメントコース/スポーツトレーナーコースでは専門選択科目である。今後のカリキュラムの見直しにより国際ビジネス学科ではすべてのコースで専門選択科目とし、スポーツ健康マネジメント学科柔道整復師コース・救急救命士コースでは教養選択科目とする予定である。</p>

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	<p>本教育プログラムは 2024 年度の入学生より実施を始めたため履修者はいるが、卒業生はまだいない状況である。ビジネス情報学部国際ビジネス学科経営・経済コースには 2025 年度からはデータサイエンスクラスの開設が予定されている。2024 年度入学生より実施している本教育プログラムを履修した学生や 2025 年度から開設されるデータサイエンスクラスの学生が卒業後に活躍していくことが期待される。</p>
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	<p>本学が毎年実施する就職支援のための学内セミナーに参加している企業に対して本教育プログラム内容についての意見を伺っている。本教育プログラムの内容については良好な回答が得られている。例えば「顧客から受注をいただく製造メーカーのため、統計から分析・解析と提案が行える人材を重宝している」「学生のレベルに合わせた講義は大切である」などの意見があった。さらに、産業界からみて大学のデータサイエンス教育に求められる内容について意見を伺い、上武大学データサイエンスセンターにてプログラムの改善に活用している。</p>